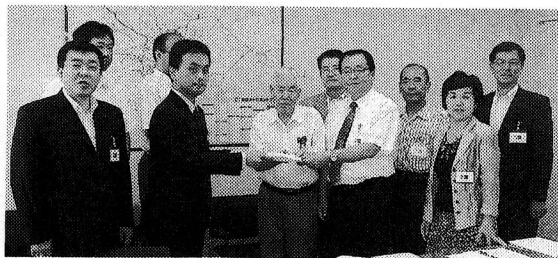


2008年(平成20年)11月26日(水曜日)

準急通の 停車本数を増やす

◎ 東京・豊島区 ◎

有楽町線 利用者の要望受け



東京メトロへ有楽町線の運行改善を求める長橋都議(左端)ら＝9月5日

東京メトロ(東京地下鉄株式会社)は29日から有楽町線のダイヤを改正し、準急列車の運転時間帯を縮小するなどして、その分、各駅停車を増やす。これにより同線では、準急が通過する各駅で、利

用できる列車が、平日で24本、土曜・休日は68本増える。

これらの駅では、一部区間で同線と並行して走る東京メトロ副都心線が6月に開業したことに伴って、運行ダイヤが変更され、以前より停車本数が減っていた。

このため、都議会公明党の長橋桂一副幹事長(党豊島総支部長)は9月5日、準急が通過する要町駅と千川駅の利用者が多い地域(豊島区)の代表らとともに、東京メトロ本社(都内台東区)を訪問。これらの駅の停車本数増加や安全対策の強化など運行の改善を要望し、東京メトロ側は「なるべく早く改善できるよう検討する」と応じていた。

要望には、豊島区町会連合会、要町一丁目町会、千川駅前商店会、要町新栄会の各代表と、公明党豊島総支部の此島澄子、辻薫の両豊島区議らが同席していた。